

## 令和6年第7回教育委員会定例会 議事録

### 1. 教育長あいさつ

7月になり、いよいよ1学期のまとめの時期になりました。小学校では修学旅行や宿泊研修も終わり、次は学期末の個人懇談を控えているところ。中学校では期末試験も終了し、学級弁論の最中で個人懇談、期末懇談の日程調整中。小中とも学校教育目標の実現に向けて、1学期を振り返り、校内の児童生徒の成長したところ、まだ課題として残っていることなど整理して、夏季休業を迎えていただきたい。

昨日の校長会において、校長先生方には4点、お知らせやお願いをしました。

①後2週間で夏季休業。事件事故の無い充実した夏季休業を願うこと。

・児童生徒について、生活習慣が崩れないようにとりわけ要配慮の児童生徒について。

・教職員について、研修や講演会などが多く予定されていますが、リフレッシュと充電を。友人や家族とゆっくり過ごしていただきたい。

・そして、校長先生、教頭先生の管理職の皆さんに対して、本当にお疲れ様でした。

②6月議会について。6月定例会での一般質問の概要について、

・江津の教育 ・不登校児童生徒支援 ・ヤングケアラー ・学校図書館 ・給食無償化

③校長教頭の人事評価面接及び所長訪問では大変お世話になりました。適切な目標設定をしていただき、感謝。評価指標等についてもご理解いただき適宜加筆を希望。

・中途面接について、面接希望者を確認し、希望者について必ず実施すること。

④服務規律の確保について

追って文書による通知がある。夏季休業に入ることで、気の緩みが出てきやすくなる。過去に長期休業で起きているのが交通違反、交通事故関係。とりわけスピード違反については、県外に出かけて高速道路でのスピードの出しすぎ。また、盗撮などのわいせつ事案。さらに直近で最も心配するのが、1学期の慰労会での飲酒関連の不祥事。セクハラや飲酒・酒気帯び運転はくれぐれも無いように。抑止力は健全な同僚性と本人のモラル意識を醸成してもらうこと。多くの人を裏切ったり悲しませたりすることになるということを丁寧に伝えてもらいたい。悪いことほど早く知らせてほしいということも重ねてお願いしたところです。

本日も多くの議題がありますが、慎重なるご審議・意見交換をお願いいたします。

### 2. 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

### 3. 議事録署名議員

○教育長

本日の署名委員は、福田委員と佐々木委員にお願いします。

### 4. 議決事項

・議案第20号 指定校変更(校区外就学許可)について

○大石課長より説明

<委員からの質疑等>

○福田委員

5年生と2年生の子どもさんがおられるが、変更期間は下のお子さんの卒業までということか。

○大石課長

そのとおりです。

・議案第21号 江津市部活動の在り方に関する方針の改訂について

○大石課長より説明

令和元年5月に策定した「江津市部活動の在り方に関する方針」について、中学校長会と協議を行い、国や県の動向を踏まえ9月から改訂する。

<委員からの質疑等>

○天倉委員

今後の考え方として、学校同士が合同でチームを作るという考えはないか。

○大石課長

必要があればそれも考えていこうとは思いますが、ただ、送迎の問題などいろいろあるので、どうしても保護者の皆さんにお願いをせざるを得ないような状況。

○教育長

基本的には、保護者や生徒、教職員の意見を参考にしながら、校長同士が協議してということになる。妨げるという方針は教育委員会としては出していない。

○佐々木委員

今回の改訂により先生方の負担が少なくなると思う。先生・生徒・保護者の納得が得られるのであればよいのでは。

○岡田委員

現場の先生方や、保護者やPTAからはどういった声が上がっているか、教育委員会として把握しているか。

○教育長

学校現場には日頃、保護者さんから部活動や授業のことでの要望や質問が入ってくる。今回の改訂については中学校長会と何度も協議をし、現場の声に基づいての改訂なので、決して教育委員会から一方的に決めたものではなく、国のガイドラインや県の方針も参考にしながらの改訂だと考えている。

保護者も様々な方がいて、先ほど佐々木委員がおっしゃったように、もっと部活動をやって欲しいという保護者さんもいれば、そうでない保護者もおられる。

○福田委員

上を目指してバリバリやりたい生徒さんは地域移行後のクラブチームなどで思いっきりやるみたいな流れにだんだんなくなっていくのかもしれない。

○教育長

本気でスポーツ競技や文化活動をやりたい生徒は高校進学の際に、その観点で高校を選ぶことが多い。そういった意味では中学校にはいろんな気持ちを持った生徒と一緒に活動する良さもあり、メリットでもあると思う。

○福田委員

中学校の部活動は上を目指すみたいな流れからだんだんそうではない方向へ変わってきている気はする。本気でやりたい生徒は高校に入ってからやる方向に変わっているのかもしれない。

○教育長

今回改訂は行うが、今後も適宜修正を加えたり、また課題の地域移行も視野に入れながら検討を重ねていくべきと考える。

## 5. 報告事項

① 江津市中学校部活動地域連携指導員配置事業実施要綱の制定について

○大石課長より説明

新たに県の制度として「部活動地域連携指導員」が追加され、それに対応する市の要綱を制定し、会計年度任用職員として雇用するもの。

### <委員からの質疑等>

○岡田委員

さしあたってどこの学校から要望があるのか。

○大石課長

江津中学校のハンドボール部と卓球部からの要望が出ている。

○佐々木委員

今後は、勤務時間までは教員で、放課後は社会体育の方へ移行する形が現実的かもしれない。やる気のある教員にはぜひそういった形態をとってやってもらいたい。そうすればもっと楽に運営していけるのではないか。

○大石課長

身分を会計年度任用職員になるのかなど様々な問題があるので、今後、先進地の取り組みを見ながら進めていきたい。

## ② 教職員の自家用自動車の公務使用に関する取扱基準の一部改正について

### ○大石課長より説明

これまで、免許取得から1年未満の場合、自家用車を公務使用できない規定となっていたが、教育長が特に必要と認めた場合は、公務での使用が可能とするよう改正する。

### <委員からの質疑等>

#### ○福田委員

1年未満の教職員は、通勤は乗ることができたが、公務使用は駄目だったのか。

#### ○大石課長

そのとおりです。

## ③ 相談箱の投函に係る対応等について

### ○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

## ④ 6月市議会定例会の概要について

### ○大石課長より説明(学校教育課分)

### <委員からの質疑等>

#### ヤングケアラーについて

#### ○天倉委員

6月議会の一般質問で出たヤングケアラーの話について実際に困っている児童生徒はいないと受けとめてもよいか。

#### ○大石課長

市教委としては、現在はいないと考えている。1学期、2学期に年2回やっているいじめのアンケートの中にヤングケアラーに関する質問事項があり、チェックが入ると、教職員や生徒指導の指導主事が状況を把握している。その結果、今のところ家の手伝いをしている子どもはいるが、ヤングケアラーと考えられる児童生徒はいないと認識している。

#### ○教育長

一般質問では、定義から入って丁寧に答弁した。いわゆる一般的な家の手伝いは奨励すべきだが、子どもが本来やるべき勉強や遊びや友達関係に支障があるほど、家事や洗濯などをさせられていないかという把握を丁寧に行っている。

#### ○大石課長

子どもの忘れ物が増えたり、朝遅刻するなど普段の状況を見て、そういったところからも把握に努めている。

#### ○教育長

先ほど言った人権アンケートが1学期・2学期に1度ずつあり、学期ごとには1対1の担任と児童生徒の教育相談や保護者との期末懇談も毎学期ある。また、あゆみという日記のようなノートを毎日中学校に提出しているので、その辺りで日常から少しの変化に気づき、声をかけることが一番見つけやすいのではないかと。

### ○大賀課長より説明(社会教育課分)

## 6. その他

### ①教職員のパソコンの更新について

#### ○大石課長より説明

- ・2in1タブレット(校務系と学習系を1台で)
- ・導入時期:12月
- ・導入予定台数:223台

## 【追加】

### 部活動の地域移行について

#### ○岡田委員

部活動の地域移行について、江津市では目標年はいつ頃を予定しているか。

#### ○大石課長

今のところは、いつ頃までには予定していない。

国は3年間（R5～R7）を「改革推進期間」と位置づけているが、県も国スポの準備もあり、トーンダウンしている。

#### ○教育長

先日中国地区の中学校長会の研究大会が広島であったが、山口のある市では、各自が地域クラブに行ったり、その学校で、教員が平日の勤務時間後は、部活動指導員の役割をして、監督・コーチとして、そのニーズにつくというようなことを市全体でやっている先進的な事例もあると聞いた。もしかしたら5年後10年後そういうのが当たり前になっているかもしれない。

地域移行については、指導者・活動場所・移動手段・経費・保険など課題がたくさんある。

### 指定校変更について

#### ○福田委員

今年度は江津東小学校を卒業した子どもの内10人が部活動を理由に江津中学校に入学したが、来年度はどのような状況になりそうか。

#### ○大石課長

江津東小の現在の6年生はまだそういう動きはない。年度末に近づかないと分からない部分もある。

#### ○教育長

江東中学校ではない学校を選ぶのかどうかはまだ流動的。

#### ○福田委員

また動きがあれば、教えてほしい。

#### ○天倉委員

地域で色々な活動をしようにも、地元の中学生在が少ないので、地域で世代間交流をしようにも子どもがいないという意見を聞くことがある。できれば地域の子どもは地域の学校に行ってほしい。部活動が理由であれば、スクールバスでの対応もできるとよい。

#### ○福田委員

部活動の地域移行が進めば部活動を理由に指定校変更する子どもが減るかもしれない。本当に部活動がネックになっているかは分からない。

#### ○岡田委員

同じような意見は桜江でも聞くことがある。

#### ○大賀課長

コミュニティスクールの取り組みの中で少しでも解消されるとよいと考えている。

## 【その他】

事務局より各学校のタブレットの稼働率について資料をもとに説明

午後3時46分終了